一般廃棄物に関する府内市町村の取組みについて

＜生活系ごみ＞

　・環境教育等の取組み

表1-1-2　府内市町村の環境教育等の取組みについて

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主に小学校等への環境教育・環境学習に関する取組み | その他の特徴的な取組み |
| 大阪市 | 小中学校の授業の中で使用するための副読本「おおさか環境科」を作成し、小学４年生～中学生へ配布。 | 環境学習情報の発信と共有を目的とした特設ポータルサイト「なにわエコスタイル」の運営。 |
| 堺市 | 環境学習副読本「わたしたちと環境」を作成し、市内全小学４年生へ配布。 |  |
| 岸和田市 | 市民団体等の実施する環境学習・環境教育プログラムの作成を支援。 |  |
| 豊中市 | 保育所・幼稚園の年長児を対象とした絵本「きょうの給食なーにかな」を作成し、配布。 | 食品ロスを減らすためのレシピを募集する「エコレシピコンテスト」の開催。 |
| 池田市 | 子どもたちにごみに対する正しい理解を深めてもらうことを目的として、小学生を対象とした３Ｒ出前授業「ごみスクール」を実施。 |  |
| 吹田市 | 市資源リサイクルセンターにおいて、小・中学校で行われている環境学習に対して、ごみの分別や廃品利用等の講座による体験学習を実施。 |  |
| 泉大津市 | 環境学習副読本の活用。 |  |
| 貝塚市 | 市内小学４年生を対象とした環境学習出前講座を実施。 |  |
| 守口市 | 小学生用副読本「わたしたちのくらしとごみ」の作成・配布。 |  |
| 枚方市 | 環境副読本「わたしたちのくらしと環境」を刊行し、毎年市内小学校４年生全員に配付。 | ごみ減量イベントにおいて、栄養専門学校へ通う学生らがヘタや皮、種などを活用した料理を販売し、食品ロスの削減を啓発。 |
| 茨木市 | 小学校へ環境学習の副読本を配布。 |  |
| 八尾市 | ごみ削減のための啓発活動として、市内の保育所、小中学校等を対象に出前講座を実施。 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 寝屋川市 | 小学４年生を対象に、施設見学及び市のごみについての講義・ビデオ鑑賞による環境学習を実施。 | ウェブページ上で、ごみ減量につながるエコレシピを募集し、ウェブページや「ごみ通信」へ掲載。 |
| 河内長野市 | 環境冊子「エコのまち河内長野　みんなで一緒に」を作成し、市内公共施設などで配布。「放課後子ども教室（スキップ）」でエコバッグを作成するなど地域・学校での環境教育への取組み。 |  |
| 大東市 | 小学４年生用に環境副読本「大東のかんきょう」を作成し、配布。 |  |
| 和泉市 | 小学４年生向け副読本「ごみとわたしたち」を作成し、配布。学校への出前授業を実施。 |  |
| 箕面市 | 市内小学生を対象に、社会の学習の一環として廃棄物処理施設を見学し廃棄物の処理の流れ、３Ｒについて学習。 |  |
| 柏原市 | 環境保全に対する意識啓発を目的として、ごみの分別や収集作業、３Ｒについて小学校での出前授業を実施。 |  |
| 藤井寺市 | 小学校において、ごみが辿ってきた歴史とこれからのあり方、３Ｒ推進などについての出前講座を実施。 |  |
| 東大阪市 | 自治会、保育所、学校を対象に出前講座を実施し、ごみ処理の流れや分別の説明、エコバッグの手作り等を実施。 |  |
| 四條畷市 | 幼稚園・保育園等における出前講座を実施。 |  |
| 交野市 | 市内小学校 ・幼稚園 での出前講座開催。環境副読本の作成、配布。 |  |
| 阪南市 | 容器包装の分別についての生涯学習・出前講座を実施。 |  |
| 島本町 | 「ごみの減量・資源化について」等の出前講座を実施。 |  |
| 豊能町 | 小学校、幼稚園、保育所で環境学習を実施。ごみの分け方や出し方について、町の職員が出向きわかりやすく説明する「井戸端会議」を実施。 |  |
| 能勢町 |  | 野菜や果物の皮を捨てずに食べるレシピを募集し、ホームページで公表。 |
| 熊取町 | 町立小学校において、４年生を対象にごみの出し方・減らし方に関するセミナーを実施。 |  |
| 田尻町 | 「ゴミと地球環境」について出前講座を実施。 |  |

（出典）各市町村ウェブページ、平成２６年度「ごみ減量・リサイクル推進週間」事業実施報告、平成２６年度

　　　　「環境衛生週間」事業実施報告、平成２７年度「ごみ減量・リサイクル推進週間」事業実施報告

　・スマートフォンアプリを活用した周知啓発の取組み

　　　　ごみの分別収集日を月ごと、週ごとに確認できる「収集日カレンダー」や、分別収集日をアラームで通知し、ごみの出し忘れを防ぐ「収集日アラーム」、分け方や出し方がわからないごみの分別方法の検索機能などを備えたアプリを活用し、ごみの適正な分別排出を促進。

表1-1-3　府内市町村のスマートフォンアプリの例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 市町村 | アプリの名称 | 主な機能 |
| 大阪市 | ごみ分別促進アプリ「さんあ～る」 | 収集日カレンダー、収集日アラーム、ごみ分別帳、ごみ出し便利帳 |
| 高槻市 | 「高槻市ごみアプリ」 | 分別に関する単語検索、ごみの分け方・出し方の解説、収集日カレンダー、収集日アラーム |
| 貝塚市 | 「ピカッと貝塚!!」 | ごみ出しカレンダー、ごみ出し通知、ごみ分別辞典 |
| 富田林市 | 「富田林市ゴミチェッカー」  「富田林市ゴミかれんだー」 | ごみの分別方法を確認  ごみの収集日カレンダー |
| 柏原市 | 「柏原市ゴミチェッカー」 | ごみの種類の検索、収集日カレンダー、  拠点収集（ペットボトルや紙パックなど）の収集場所や収集品目の表示 |

(出典：各市ウェブページ)

＜事業系ごみ＞

大阪市

　・平成２５年１０月より市の焼却工場への再生可能な紙類の搬入を禁止。

　・事業系ごみの古紙について「古紙回収協力店制度」を設け、小規模事業者の古紙の分別排出を促進。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 事業系ごみ排出量（ｔ） | 865,699 | 710,193 | 707,888 | 710,749 | 688,675 | 627,754 | 571,918 |

堺市

　・平成２６年１０月より清掃工場への併せ産廃の搬入を禁止、搬入物の検査機を導入し、展開検査を強化。

　・紙ごみの減量・リサイクルに向けた呼びかけ・意識啓発を実施。

　・事業系ごみ・産業廃棄物の適正処理と減量の取組み事例を紹介する「事業系一般廃棄物減量セミナー」を開催。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 事業系ごみ排出量（ｔ） | 135,951 | 128,391 | 128,310 | 125,173 | 129,076 | 126,091 | 111,406 |

高槻市

　・平成２１年に条例において定めていた併せ産廃の規定を削除

　　　‐一般廃棄物許可業者を通し、排出事業者へ産業廃棄物を混入しないよう注意を喚起。

　　　‐事業系一般持込みごみの事前届出制度を開始。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 事業系ごみ排出量（ｔ） | 72,624 | 55,482 | 39,043 | 38,556 | 37,353 | 37,253 | 36,991 |

寝屋川市

　・事業所から提供された新聞や雑誌などの資源物も、地域の集団回収活動団体の奨励金の交付対象とし、事業所から排出される資源物を地域の集団回収に提供できる制度を実施。（平成

２０年開始）

摂津市

　・事業系古紙の登録回収制度（平成１４年ごみ処理手数料の改定に併せて開始）

‐古紙の回収を希望する小規模事業所は事前に登録。古紙業者等と打合せの上、回収日時などを設定して個別回収。

事業系ごみに関する府外市町村の取組みについて

・事業系の資源化可能な紙類の分別排出の促進

‐市の焼却工場への資源化可能な紙類の搬入禁止

宮城県仙台市、新潟県新潟市、神奈川県横浜市、神奈川県相模原市

千葉県千葉市、滋賀県大津市、愛知県名古屋市、岡山県岡山市、広島県広島市

福岡県北九州市　など

‐主に少量排出事業者を対象とした紙類の分別排出の促進

福岡県福岡市：古紙の少量排出事業者と回収業者のマッチングを行う「事業系ごみ資源化情報発信サイト」を運用。

　　　　　　　少量排出事業者による古紙や機密書類の分別排出を促進。

千葉県千葉市：古紙の再資源化を推進するため、市役所や清掃工場など市内20施設に「古紙回収庫」を設置。

　　　　　　　　段ボール製で雑紙の種類や排出方法を記載している「雑紙回収ボックス」を希望者に配布。

・展開検査の強化

千葉県野田市：条例に基づき、展開検査及び受入指導を強化。

　　　　　　　【指導等の流れ】

指導→勧告→命令→公表→受入拒否

神奈川県鎌倉市：ごみ投入検査機による搬入物検査を実施し、混入率ごとにランクを分けて４段階で評価。条例に基づき悪質な排出事業者や許可事業者には行政処分を課す。

　　　　　　　【指導等の流れ】

　　　　　　　　　　　指導→改善勧告→公表→命令→期間を定めて受入拒否

生活系ごみの処理有料化について

１.　生活系混合/可燃ごみの有料化実施市町村

表1-1-4　生活系混合/可燃ごみの有料化を実施している府内市町村（平成２７年１０月時点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 市町村名 | 導入年月 | 手数料等 |
| 富田林市 | Ｈ8年2月 | 指定配付枚数を超えるとき シール　30L用1枚50円、45L用1枚100円 |
| 河内長野市 |
| 大阪狭山市 |
| 太子町 |
| 河南町 |
| 千早赤阪村 |
| 岸和田市 | Ｈ14年7月 | 指定配付枚数を超えるとき シール　30L用1枚70円、45L用1枚100円 |
| Ｈ22年4月 | 指定袋　10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、  45L袋1枚45円 |
| 箕面市 | Ｈ15年10月 | 指定配付枚数を超えるとき 指定袋　20L袋1枚40円、30L袋1枚60円 |
| 能勢町 | Ｈ15年10月 | 指定配付枚数を超えるとき　シール　45L用1枚100円 |
| 貝塚市 | Ｈ16年4月 | 指定袋　30L袋1枚9円、45L袋1枚9円 |
| 池田市 | Ｈ18年4月 | 指定配付枚数を超えるとき 指定袋　10L袋1枚20円、20L袋1枚40円、  30L袋1枚60円、40L袋1枚80円 |
| Ｈ24年4月 | 指定袋　10L袋1枚8円、20L袋1枚16円、  30L袋1枚24円、40L袋1枚32円 |
| 泉佐野市 | Ｈ18年4月 | 指定袋　10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、  50L袋1枚50円 |
| 泉南市 | Ｈ20年4月 | 指定袋　10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、  30L袋1枚30円、45L袋1枚45円 |
| 阪南市 | Ｈ20年4月 | 指定袋　15L袋1枚15円、30L袋1枚30円、  45L袋1枚45円 |
| 忠岡町 | Ｈ20年10月 | 指定袋　20L袋1枚20円、30L袋1枚30円、  45L袋1枚45円 |
| 熊取町 | Ｈ21年4月 | 指定袋　20L袋1枚10円、45L袋1枚20円 |
| 田尻町 | Ｈ22年2月 | 指定袋　10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、  50L袋1枚50円 |
| 泉大津市 | Ｈ22年12月 | 指定袋　15L袋1枚15円、30L袋1枚30円、  45L袋1枚45円 |
| 高石市 | Ｈ25年4月 | 指定配付枚数を超えるとき　シール　15L用1枚30円、  30L用1枚60円、45L用1枚90円 |
| 和泉市 | Ｈ27年10月 | 指定袋　5L袋1枚5円、10Ｌ袋1枚10円、  20L袋1枚20円、45L袋1枚45円 |

２.　平成２０年度以降に生活系混合/可燃ごみ有料化を導入した市町

　・平成２０年度から２５年度に生活系混合/可燃ごみ処理の有料化を導入したのは７市町であり、

　うち６市町はごみ袋の有料化による単純従量制、１市は超過量従量制。

表1-1-5　平成２０年度から２５年度に生活系混合/可燃ごみ処理の有料化を導入した市町

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 市町村名 | 導入年月 | 手数料等 |
| 泉南市 | Ｈ20年4月 | 指定袋　10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、30L袋1枚30円、45L袋1枚45円 |
| 阪南市 | Ｈ20年4月 | 指定袋　15L袋1枚15円、30L袋1枚30円、45L袋1枚45円 |
| 忠岡町 | Ｈ20年10月 | 指定袋　20L袋1枚20円、30L袋1枚30円、45L袋1枚45円 |
| 熊取町 | Ｈ21年4月 | 指定袋　20L袋1枚10円、45L袋1枚20円 |
| 田尻町 | Ｈ22年2月 | 指定袋　10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、50L袋1枚50円 |
| 泉大津市 | Ｈ22年12月 | 指定袋　15L袋1枚15円、30L袋1枚30円、45L袋1枚45円 |
| 高石市 | Ｈ25年4月 | 指定配付枚数を超えるとき　シール　15L用1枚30円、  30L用1枚60円、45L用1枚90円 |

表1-1-6　１人１日当たりの生活系混合/可燃ごみ収集量

　　　　　　　　（平成２０年度から２５年度に有料化を導入した市町）

（ｇ／人・日）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 泉南市 | 592 | 411 | 436 | 418 | 408 | 414 |  |  |
| 阪南市 | 538 | 428 | 432 | 421 | 426 | 428 |  |  |
| 忠岡町 | 611 | 526 | 505 | 523 | 533 | 564 |  |  |
| 熊取町 |  | 516 | 417 | 411 | 410 | 417 | 413 |  |
| 田尻町 |  | 552 | 545 | 473 | 487 | 491 | 464 |  |
| 泉大津市 |  |  | 505 | 460 | 429 | 423 | 420 | 420 |
| 高石市 |  |  |  |  |  | 492 | 407 | 413 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 導入前 | 導入年度 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
| 7市町平均 | 535 | 435 | 431 | 428 | 428 | 430 |

図1-1-1　生活系ごみ混合/可燃ごみの収集量の経年変化

　　　　　　　　（平成２０年度から２５年度に有料化を導入した市町）



表1-1-7　有料化導入市町において併せて行われた施策

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 有料化導入前 | | 有料化導入時 | |
| 泉南市 |  |  | H20年4月 | 容器包装プラの収集頻度を月2回から週2回に |
| 阪南市 | H19年 | 容器包装プラの収集頻度を月2回から週1回に | H20年4月 |  |
| 熊取町 |  |  | H21年4月 | 容器包装プラの分別収集を開始 |
| 田尻町 | H20年4月 | 紙、紙パック、布、ペットボトルを拠点回収から月2回の分別収集に | H22年2月 | 容器包装プラ・白色トレイの週1回の分別収集を開始 |
| 泉大津市 |  |  | H22年12月 | 食品トレイの分別収集を開始 |
| 和泉市 | H27年4月 | プラスチック製の卵パック、食品トレイの分別収集を開始 | H27年10月 |  |

３.　平成１９年度以降に有料化以外の施策を行って生活系ごみの量が減少した市

表1-1-8　平成１９年度以降に有料化以外の施策を行った市の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 市町村名 | 導入年月 | 施策 |
| 交野市 | Ｈ19年 | 容器包装プラ・ペットボトルの分別収集の開始 |
| 守口市 | Ｈ19年10月 | 容器包装プラの分別収集を開始 |
| 枚方市 | Ｈ20年2月 | 容器包装プラ・ペットボトルの全市収集開始 |
| 寝屋川市 | Ｈ20年 | 古紙・古布の分別収集の開始 |
| 茨木市 | Ｈ20年 | 古紙の行政収集開始、透明・半透明のごみ袋による排出制度の開始 |
| 大阪市 | Ｈ25年10月 | 古紙・衣類の全市収集開始、分別不適合ごみ袋の取り置きによる 啓発・指導、資源化可能な紙類の市焼却工場への搬入禁止 |

表1-1-9　１人１日当たりの生活系混合/可燃ごみ収集量

　　　　　（ｇ／人・日）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 交野市 | 449 | 398 | 392 | 384 | 390 | 391 | 388 | 391 |
| 守口市 | 418 | 348 | 337 | 326 | 325 | 337 | 329 | 327 |
| 枚方市 | 449 | 410 | 407 | 402 | 402 | 408 | 406 | 405 |
| 寝屋川市 | 473 | 410 | 412 | 398 | 410 | 413 | 399 | 391 |
| 茨木市 | 487 | 482 | 466 | 450 | 451 | 442 | 434 | 417 |
| 大阪市 | 532 | 479 | 462 | 437 | 432 | 427 | 385 | 356 |

図1-1-2　生活系混合/可燃ごみの収集量の経年変化



４.　生活系混合/可燃ごみ収集量の比較

表1-1-10　１人１日当たりの生活系混合/可燃ごみ収集量

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 市町村数 | 1人1日当たりの混合/可燃ごみ収集量（g／人・日） | |
| 平成20年度実績 | 平成26年度実績 |
| 有料化導入なし | 24 | 481 | 421 |
| 平成8年導入 | 6 | 481 | 505 |
| 平成14～18年導入 | 6 | 461 | 429 |
| 平成20年度以降に導入 | 7 | 493 | 425 |
| 府　平均 | 43 | 480 | 425 |